

# 熊本大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 専門修練プログラム

## 1. プログラムの概要・特徴

耳鼻咽喉科・頭頸部外科では、脳、歯、眼、頭髪以外の頸部から上のほとんどすべての疾患を診療しています。耳・鼻・口腔咽頭・喉頭だけでなく、顔面骨の骨折や腫瘍、甲状腺、唾液腺を含む頸部の疾患は当科の診療領域であり、これらの部位の炎症性・アレルギー性疾患のみでなく腫瘍性疾患や外傷を診療しています。耳鼻咽喉科・頭頸部外科の特徴としては、めまい、難聴、嗅覚、味覚等の感覚に加えて、発声、嚥下といった、人が他者とコミュニケーションを取りながら質の高い生活を営んでいく上で不可欠な機能を取り扱う診療科であるということにあります。生活の質が問われる現代において当診療科の担う役割は、ますます大きくなってきています。

当科では、音声外科、嚥下機能再建手術、鼻副鼻腔内視鏡外科手術、中耳手術、人工内耳埋め込み術、頭頸部悪性腫瘍手術と有茎・遊離皮弁を用いた形態・機能再建手術など非常に幅広い領域の手術を行っており、また脳外科と行う頭蓋底腫瘍の手術、外科と行う下咽頭頸部食道癌手術など、他科との共同手術にも積極的に取り組んでいます。当科では、例年約600件の手術を行っており、本プログラムによりすぐれた耳鼻咽喉科専門医となるために必要な幅広く充実した国内トップレベルの臨床研修を受けることが出来ます。

熊本県において耳鼻咽喉科専門医は極めて不足しており県下の主幹病院においてさえも耳鼻咽喉科常勤医が充足されていないのが現状です。本プログラムを通して耳鼻咽喉科専門医資格を取得後は幅広い活躍の場が開けています。

## 2. 研修の目標

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医の取得をまず目指します。本専門医は、卒後まず2年の初期研修終了後、耳鼻咽喉科専門研修施設において4年間の研修終了後に受験資格が得られます。従って最短では卒後7年目で取得することが可能です。

## 3. 研修の方略（研修スケジュールのシエマを参照）

専門修練プログラムにおいてはまず、当科にて1年間ジュニアレジデントとして耳鼻咽喉科医としての基本的な知識・技術の習得を行います。この段階で耳鼻咽喉科における基本的な手術（気管切開、口蓋扁桃摘出、良性腫瘍摘出など）を術者として指導医の下で執刀します。その後は附属病院もしくは関連病院にて3年間の臨床研修を行っていただきます。以上4年間の臨床研修後に耳鼻咽喉科専門医試験の受験が可能となります。専門医取得後は、さらに大学または関連病院にて臨床研修を積むことも可能ですし、大学院にて基礎研究もしくは臨床研究に従事し医学博士の取得を目指すことも可能です。大学院における研究テーマとしては、現在進行中のものでさらに発展的に研究を進める必要があるものもいくつかあり、希望によりそれらのテーマの中から選択していただくことが可能です。大学院への入学に際しては、大学に属し大学院に入学する以外に、社会人特別選抜入学制度を利用して関連病院に常勤として勤務しながら毎週数日間の研究日を利用して研究を行い学位の取得を目指すことも可能です。この場合は安定した収入を得ながら大学院にて研究を行うことが出来るという大きなメリットがあります。大学院への進学は基本的には数年の耳鼻咽喉科での研修を経た後が望ましいと考えておりますが、場合により2年の初期研修終了後に当科に属して大学院に進むことも可能です。この場合でも臨床に則した研究テーマを選ぶことにより専門医試験の受験資格を卒後7年目で得ることが可能です。学位取得後は大学でスタッフとして後進の指導をする、留学をする、関連病院にてさらに臨床の研鑽をつむ等の道を選ぶことが可能です。また日本耳鼻咽喉科学会認定専門医取得後は、頭頸部がん専門医、日本気管食道学会認定医、日本がん治療認定医、日本アレルギー学会専門医の資格を習得し専門の幅を増やすことも可能です。

## 本プログラムの概要

1年目	スーパーローテート(1年目)					
2年目	スーパーローテート(2年目)					
3年目	ジュニアレジデント(附属病院)					
4年目	附属病院または関連病院			大学院	大学院 (社会人特別入学)	
5年目						
6年目	シニアレジデント					
7年目	専門医 医標榜	大学院	大学院 (社会人特別入学)	附属病院 または 関連病院	シニアレジデント ← 耳鼻咽喉科専門医試験	
8年目					附属病院 または 関連病院	留学
9年目						
10年目						大学スタッフ または 関連病院
11年目以降					大学スタッフ、留学または関連病院	

### 4. 研修の評価

卒後7年目以降に日本耳鼻咽喉科学会認定専門医試験を受験する。また希望により頭頸部がん専門医、日本気管食道学会認定医、日本がん治療認定医、日本アレルギー学会専門医試験を受験する。

### 5. 募集人員 3名

### 6. 研修実施責任者 耳鼻咽喉科・頭頸部外科科長 湯本英二

### 7. 研修指導責任者

湯本英二(科長、総括責任者)：日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本気管食道科学会専門医、  
内分泌・甲状腺外科専門医

蓑田涼生(准教授)：日本耳鼻咽喉科学会専門医、頭頸部がん暫定指導医、日本がん治療認定医

鮫島靖浩(講師)：日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本気管食道科学会専門医、  
日本アレルギー学会指導医、頭頸部がん暫定指導医

讃岐徹治(講師)：日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本気管食道科学会専門医

増田聖子(助教)：日本耳鼻咽喉科学会専門医

村上大造(助教)：日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本がん治療認定医

熊井良彦(助教)：日本耳鼻咽喉科学会専門医

青山 猛(助教)：日本耳鼻咽喉科学会専門医

### 8. 関連施設及び当該施設の学会認定状況

熊本市市民病院(日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設)、熊本赤十字病院(日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設)

八代総合病院(日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設)、西日本病院 \*以上常勤医がいる関連病院のみ記載

### 9. 見学希望の方々へ

随時、学部生・初期研修医の方々の見学を受け付けております。お気軽に下記連絡先までご連絡下さい。

### 10. 連絡先

熊本市本荘1丁目1-1 熊本大学大学院生命科学研究部 頭頸部感覚病態学分野 蓑田涼生(医局長)

Tel:096-373-5255、Fax:096-373-5256、e-mail: jibika-ikyoku@f.c.kuh.kumamoto-u.ac.jp

ホームページ: <http://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/jibiinkoka/>